




戸建住宅用宅配ボックス あずかりくん 取扱説明書

- ご使用の前に必ず本書をお読みください。また、本書は大切に保管してください。
- 本書では、代表的な製品仕様を用いて操作方法をご説明します。ボックス形状や数がお客様の製品とは異なる場合があります。
- 生鮮品や腐敗変質しやすいもの、動物、現金、貴重品、重要書類、発火や爆発などのおそれのある危険物、劇薬物、不潔なものなどは入れないでください。
- 本書では、誤った取り扱いにより生じる危険とその程度を、次の表示で区分してご説明します。

 危険	取り扱いを誤ることにより使用者が死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される場合
 警告	取り扱いを誤ることにより使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合
 注意	取り扱いを誤ることにより使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

安全のために必ずお守りください

危険



操作が終わった扉は必ず閉めてください。ご自身や歩行者に当たってけがをする原因になります。



扉にぶらさがったり、足をかけたりしないでください。けがや故障の原因になります。



ボックスの中には絶対に入らないでください。特に小さなお子様はボックスで遊ばないように気をつけてください。

警告



扉の開閉はゆっくりと行ってください。手などを挟み、けがの原因になります。



保守者以外は改造や分解をしないでください。けがの原因になります。本体を乱暴に扱わないようご注意ください。

注意



重量が30kgを超えるものは入れないでください。棚が変形、破損する原因になります。



水をかけて洗わないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

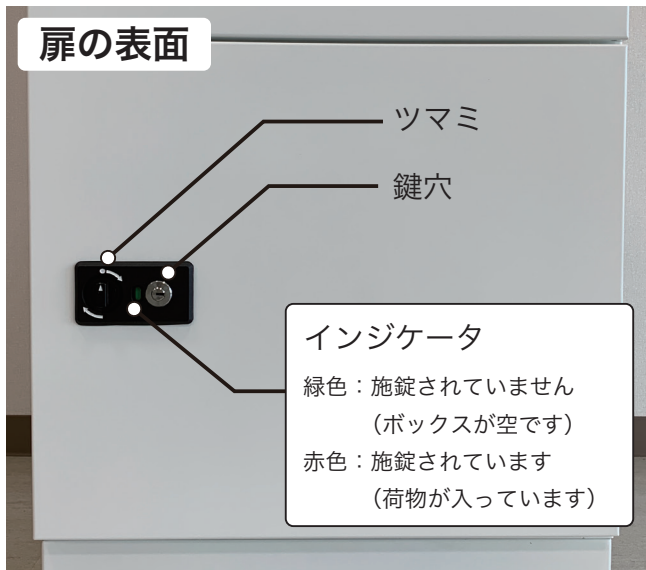
ボックス内に閉じ込められたときは



緊急脱出用ツマミを
左方向に押す

ボックスの内側（扉の裏面）には、緊急脱出用のツマミが備え付けられています。もしボックス内に閉じ込められたときは、緊急脱出用ツマミを左方向に押し扉が開きます。

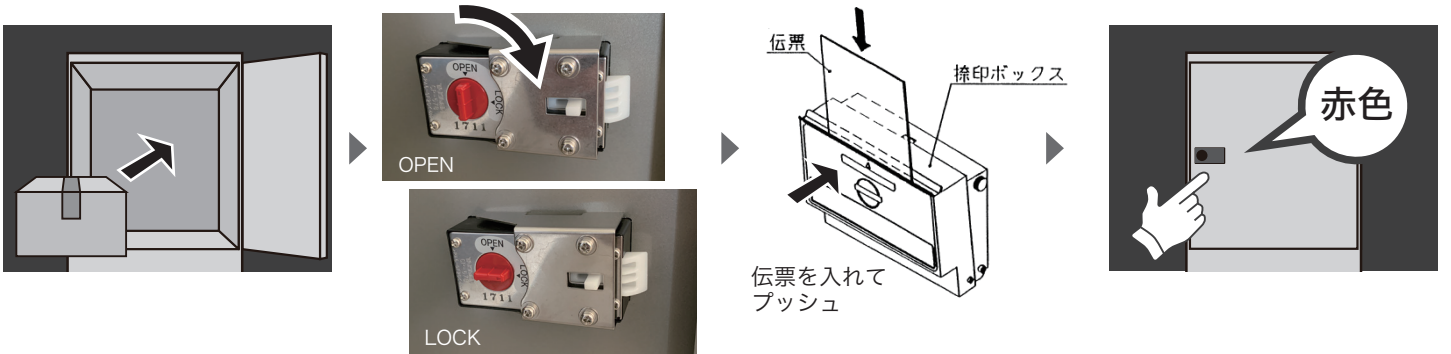
各部のなまえ



荷物を配達する（集配者の操作）

- インジケータが緑色のボックスを利用することができます。
- インジケータが赤色のボックスには荷物が保管されているため、ご利用になれません。

- 1 扉を開けて荷物を入れる
- 2 扉の裏にある施錠ツマミを「LOCK」の方向に回す
- 3 扉の裏の捺印ボックスで受領印を捺印する
- 4 扉を閉めて、インジケータが赤になっていることを確認する



荷物を受け取る（居住者の操作）

- インジケータが赤色のボックスに荷物が保管されています。
- 宅配ボックスを解錠して荷物を取り出すには、付属の鍵が必要になります。鍵をご用意ください。

- 1 インジケータが赤色の扉を専用の鍵で解錠して開く
- 2 荷物を取り出して扉を閉める
(インジケータは緑に戻ります)



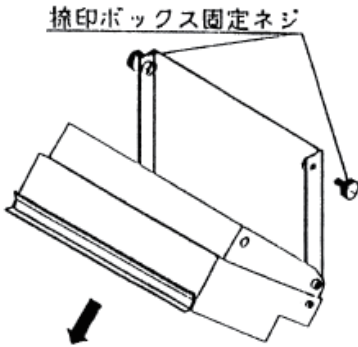
メンテナンスについて

スタンプ用インキカートリッジの交換

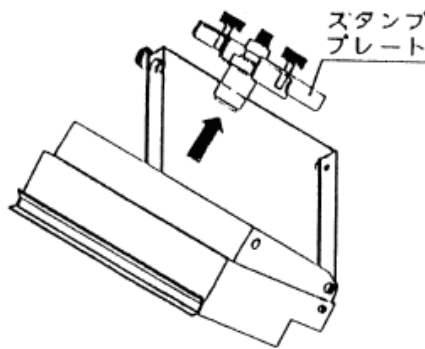
留意事項

- 宅配ボックスの扉の内側には、集配者が受領印を捺印するためのスタンプが備わっています。スタンプのインキが不足すると捺印ができませんので、2～3ヶ月に1回程度点検を行い、捺印が薄くなっている場合はインキカートリッジを交換してください。
- 付属の補充インキカートリッジをお使いください。補充インキカートリッジがなくなりましたら当社までご注文ください。(有料)

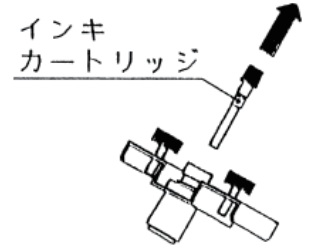
- 1 扉を開き、捺印ボックス固定ネジを外して捺印ボックスを開く



- 2 スタンププレートを取り外す



- 3 インキカートリッジを新しいものに交換する

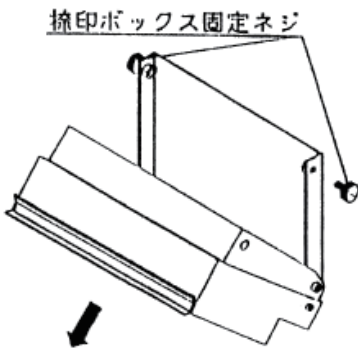


- 4 スタンププレートを取り付けて、捺印ボックス固定ネジを締め、扉を閉める

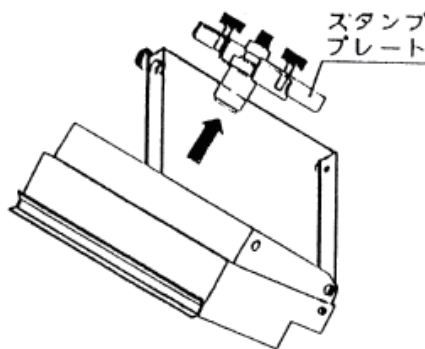
スタンプ用受領印の交換

- 受領印はお好みのものに交換することができます。当社までご注文ください。(有料)

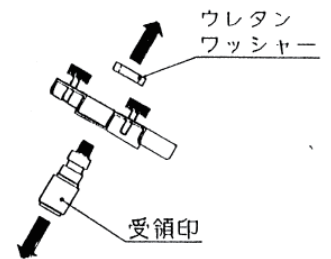
- 1 扉を開き、捺印ボックス固定ネジを外して捺印ボックスを開く



- 2 スタンププレートを取り外す



- 3 ウレタンワッシャーを取り外し、受領印を交換する



- 4 スタンププレートを取り付けて、捺印ボックス固定ネジを締め、扉を閉める

外観およびボックス内の点検と清掃

- 本体の外部やボックス内にへこみや傷がないか、時々点検してください。
- 汚れがある場合は、乾拭きするか、ぬるま湯で拭いてください。
- 配達員の手違いにより空で施錠されている場合もありますので、定期的に内容物の確認を行ってください。